

市町村長・管理職特別セミナー (4月24日～25日)

4月24日・25日の2日間の日程で、令和7年度第1回「市町村長特別セミナー」及び「管理職特別セミナー」を一般財団法人地域創造との共催により開催し、全国各地から計58人の市町村長、管理職等の皆様にご参加いただきました。

初日は、まず、「人口減少時代における多文化共生の未来」と題して、羽衣国際大学教授でダイバーシティスピーカーのにしゃんた氏から、日本人と外国籍住民がただ共に生きるだけでは本当の多文化共生とは言えないという考えのもと、「共に楽しく笑える社会」の実現に向けた考えについてご講演いただきました。参加者からは、「多文化共生の本質をとらえた話で大変有意義だった。」「多文化共生の構造的課題が整理でき、今後の施策の参考となった。」「日本人以上に日本のことを勉強し、これをユニークなトークに置き換えており引き込まれた。」などの感想をいただきました。



にしゃんた氏

続いて、「社会とアートのつながりー東京藝大の文化的処方を取り組みについてー」と題して、東京藝術大学長の日比野克彦氏から、アート活動と医療・福祉・テクノロジーを組み合わせることで、個々人がその人らしくいられるレジリエントな場所やクリエイティブな体験の創出を目的に、東京藝術大学を中核として産官学民が連携し、実践している取り組みや活動についてご講演いただきました。参加者からは、「地域の文化をどう生かし、住民と協働できるか、行っていくかの啓発をいただいた。」「新しい言葉“文化的処方”。なるほどと感じた。」「芸術文化が人々の健康や地域づくりに寄与するものとヒントを得た。」などの感想をいただきました。



日比野 克彦氏

初日の最後に、一般財団法人地域創造公共ホール音楽活性化事業登録アーティストとしてもご活躍されている「アーバンサクソフォンカルテット」によるミニコンサートを開催しました。参加者からは、本事業の活用によって、地域の音楽文化の活性化や創造性豊かな地域づくりを期待する声が多く寄せられました。



ミニコンサート



長谷川 文雄氏

2日目は、まず、「首長のリーダーシップによる自治体DXの推進～生成AIの利活用～」と題して、明治大学名誉教授の長谷川文雄氏から、DXの必要性や先進的な導入事例等について、動画を交えてご講演いただきました。参加者からは、「自治体DX推進の必要性やポイントを分かりやすく示していただいた。」「DXの本質や推進方法等について、テンポよく明快な説明、有用な実例も含めた具体的な講義で非常に良かった。」「首長に対しては、DXは頭が痛いところ。理解を深めることができた。」などの感想をいただきました。

最後に、「ジェンダー平等による持続可能な地域づくり～人口減少・労働力不足問題の解消へ～」と題して、ジャーナリストの浜田敬子氏から、「ジェンダー後進国」とも言われる日本の現状や弊害、先進国の取り組み、若い女性が地方から流出する要因、多様性の本質等についてご講演いただきました。参加者からは、「ジェンダー平等と人口減少の関係性が詳しく分かった。」「人口減少、労働力不足の解決策は参考となった。」「視野が広がった。自ら果たすべき仕事は、まだまだあると考えが深まった。」などの感想をいただきました。



浜田 敬子氏

市町村議会議員特別セミナー

(4月21日～22日)

4月21日・22日の2日間の日程で、令和7年度第1回「市町村議会議員特別セミナー」を開催し、全国各地から111人の市町村議会議員の皆様にご参加いただきました。



葦津 敬之氏

初日は、まず、「『地域の宝』を世界にひらく世界遺産の可能性」と題して、宗像大社宮司で宗像国際環境会議副会長の葦津敬之氏から、2017年に「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群として世界文化遺産となった宗像大社の登録までの道のりや宗像国際環境会議での環境問題への取り組みなどについてご講演いただきました。参加者からは、「宗像大社の世界遺産登録を目指すために、海のみがえりなどの海洋環境問題の改善につなげ、その活動を未来へ継続するようにできていることが素晴らしいと思った」「『常若』というキーワードのもと、環境問題に取り組まれていることが、地域づくりに活かしていけそうだった」「世界遺産という特定の施策についての話しだったが、住民にいかに周知して参加を促していくか、継続していくかなど、他の施策にも充分に繋がる内容でよかった」「世界遺産に登録された宗像、沖ノ島の、ここに至る苦労、全体で盛り上げてきた経緯が勉強になった。それぞれの地域に存在する文化を守り、継承に向け尽力したい」などの感想をいただきました。

続いて、「議員視点からの地方創生のアイデア」と題して、関東学院大学法学部地域創生学科教授の牧瀬稔氏から、地方創生の方向転換を意識しつつ、創生に取り組むことの重要性や人口減少を克服するため、将来人口推計を冷静に判断しながら、地域を創造していくことなどについてご講演いただきました。参加者からは、「行政の活動も基本的に一般企業と同じで、住民が求めているものを創造できるかが重要であると感じた」「人口減少克服のヒントや、人口減少施策における盲点に気付く一つの視点など、自分の視点とは少し違う問題の見方を勉強できた」「データを正しく理解して政策を立案し、評価、検証することの重要性を再認識でき、大変よかった」「地方議会人への投稿、地方自治体におけるアドバイザー資料を見て、素晴らしい取り組みをしている講師だと認識していたが、まさに期待どりの内容だった」などの感想をいただきました。



牧瀬 稔氏



土山 希美枝氏

2日目は、まず、「質問力を高める、議会力にいかす」と題して、法政大学法学部教授・政治学博士の土山希美枝氏から、一般質問を機能させるため、論点を整理して、争点を発見し、現状を事実でとらえ、分析するための情報収集の重要性などについてご講演いただきました。参加者からは、「一般質問を効果的に行う視点を、わかりやすくお話しいただき、自分の質問のあり方を再確認できた」「普段考えていることを理論的に話しいただき、非常に明快だった。一般質問を個別に終わらずに政策提言へつなげる方法のひとつであるとわかった」「一般質問を機能させるための論点整理、分析するための情報収集がよくわかった。今後の一般質問において、今回学んだやり方で提案していきたい」「議員の質問力は総合的な政策形成力であり、議員の、政治家としての活動と知見の集約である」という言葉が心に刺さった」などの感想をいただきました。

最後に、「先進事例から学ぶ～成功する公共施設マネジメント」と題して、東洋大学国際PPP研究所シニアリサーチパートナーの南学氏から、公共施設の老朽化が進み、財源もないなか、「縮充」という考え方への発想転換とマネジメントの実践等について、いくつかの自治体での先進事例を紹介しながらご講演いただきました。参加者からは、「成功する公共施設マネジメントとして、自治体内、部局も越え、民間活力を利用した安全管理の必要性について、大変勉強になった」「包括委託の事例を聞き、安全確保の面でも得策であると思った。ただ民間へ丸投げするのではなく、行政と民間がパートナーとして公共施設を運営することの重要性について学んだ」「社会の流れは『縮充』に傾いてきているのではないかと思う。講師のお話しは、そうした社会の動きを読み解く内容でよく理解できた」「公共施設の老朽化対策、管理は大きな問題であるが、包括委託で常駐技術者を配置すれば、現場巡回機会が増加し、すぐに修繕でき、費用も削減できるという先進市の事例が特に参考になった」などの感想をいただきました。



南 学氏

監査委員特別セミナー

(4月16日～17日)

4月16日・17日の2日間の日程で、「監査委員特別セミナー」を開催し、全国各地から計120人の監査委員の皆様にご参加いただきました。

初日は、まず、「監査制度に係る現状の課題について」と題して、総務省大臣官房審議官の新田一郎氏から、人口や職員数の推移など地方自治体の現状、デジタル技術の活用事例、国・都道府県・市町村の役割分担及び多様な広域連携の推進などを踏まえた監査・内部統制の論点等についてご講演いただきました。参加者からは、「地方行財政の現状と今後の地方公共団体の有様について、興味深く示唆に富んだ内容であった」、「監査制度のみならず、自治体に係る現状と課題について分かりやすく講演いただき大変参考になった」、「漠然と思い描いていた地方行財政の将来の姿、そしてなすべきことを具体的に知ることができた」などの感想をいただきました。



新田 一郎氏



大塚 成男氏

続いて、「決算等の審査のポイントー財務書類による分析ー」と題して、熊本学園大学大学院会計専門職研究科教授の大塚成男氏から、「統一的な基準」における財務書類の体系及び概要、「資産」や「コスト」の捉え方、減価償却費と自治体の説明責任等についてご講演いただきました。参加者からは、「財務書類の見方のポイントを分かりやすく説明いただき、今までの視点と違う目線でこれからの業務に活かせるよい講義だった」、「財務書類を監査で活用する必要性、重要性を知ることができた」、「財務書類の説明が今までにない切り口の講義内容であり、新鮮味を感じた」などの感想をいただきました。

2日目は、まず、「監査実務の現状と課題ー地方創生政策との関連においてー」と題して、日本大学商学部教授の紺野卓氏から、地方創生政策とその中心にあるDX政策の概要、DX政策に係る様々なリスク、内部統制制度の課題等についてご講演いただきました。参加者からは、「地方創生政策やDX事業の進展に伴い、監査委員の責任と役割がますます重要となっていることを実感した」、「他の先進自治体の事例や具体的な考え方等非常に参考になった」、「DXの本来の意味と現状の課題がよく分かった」などの感想をいただきました。



紺野 卓氏



渡邊 浩志氏

最後に、「公営企業会計に係る監査」と題して、公認会計士の渡邊浩志氏から、公営企業及び公営企業会計の概要、公営企業の監査に関する主な条文、留意すべき公営企業会計の監査のポイント等についてご講演いただきました。参加者からは、「公営企業会計の仕組みとチェックの仕方が良くわかった」、「発生主義会計や複式簿記といった企業会計方式の特徴を踏まえ、今回学んだことを今後の監査や財務分析に生かしていきたい」、「公営企業会計に関する基本を丁寧に説明いただき、考え方を整理することができた」などの感想をいただきました。